

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ミックスベリー

|          |   | チェック項目                                                     | はい | いいえ | 工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                               |
|----------|---|------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備  | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である                                  | ○  |     | 活動人数に合わせて適切な広さの指導訓練室で行っている。                                     |
|          | ② | 職員の配置数は適切である                                               | ○  |     | 配置基準を満たしている。また理学療法士、保育士等有資格者が配置されている。                           |
|          | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | ○  |     | 各部屋に入る際には段差がないような設計となっている。                                      |
| 業務改善     | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | ○  |     | 事業所の目標を定めて運営している。また、目標の到達具合について、ミーティングで共有している。                  |
|          | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | ○  |     | 職員全体に共有し、業務改善できるよう話し合いを実施している。                                  |
|          | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | ○  |     | 弊社ホームページにて公開している。                                               |
|          | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             |    | ○   | 第三者による外部評価は実施していないが、定期的に他事業所を交えてミーティングを実施、評価してもらいながら業務改善に繋げている。 |
|          | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | ○  |     | 虐待防止研修、感染症予防研修、外部講師を招いての研修を毎年受講している。                            |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○  |     | 担当相談員や保護者と面談し、児童自身の意思を尊重しながらサービス計画を作成している。                      |
|          | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している                   | ○  |     | 社内のアセスメントツールを活用しながらアセスメントを実施している。                               |
|          | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | ○  |     | 職員全員で話し合いをしてプログラムを決めている。                                        |
|          | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | ○  |     | 発達支援の5領域を意識して日または週ごとに活動プログラムを変えて固定化しないようにしている。                  |
|          | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | ○  |     | 児童の特性に合わせた課題や活動内容を実施している。                                       |
|          | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別集団と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している            | ○  |     | 児童の特性に合わせて個別集団と集団活動を組み合わせ作成している。                                |
|          | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している           | ○  |     | 当日にミーティングを開催し、支援内容や活動の情報共有を行っている。                               |
|          | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している      | ○  |     | 翌日にミーティングを実施し、前日の振り返りを行っている。                                    |

|              |    |                                                                       |   |  |                                                |
|--------------|----|-----------------------------------------------------------------------|---|--|------------------------------------------------|
|              | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               | ○ |  | サービス提供記録に記載したり、業務日報に残している。                     |
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | ○ |  | 保護者の方と面談をしてサービス計画の見直しをしている。                    |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている                                       | ○ |  | 製作や課題、集団活動の時間と余暇の時間を組み合わせながら支援を行っている。          |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | ○ |  | 児童発達支援管理責任者と併せて保育士や理学療法士等が参画している。              |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ |  | 学校から下校時刻予定表をいただいたり、保護者へ確認している。                 |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             | ○ |  | 現在医療的ケア児の利用がないため連携はとっていない。今後必要な場合は連携を図っていく。    |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | ○ |  | 次年度利用者から現在在籍中の保育所へ見学へ行けるか調整している。               |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | ○ |  | 新しい相談員や事業所へ情報共有を行っている。                         |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                         | ○ |  | 発達障害者支援センター「ほっぷ」の研修に参加している。                    |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                 | ○ |  | 課外活動等で同じ空間で活動を行っている時はあるが、交流には至っていないため、今後検討したい。 |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか                                              | ○ |  | 必要に応じ、積極的に参加していく。                              |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | ○ |  | サービス提供記録や送迎時、面談時に共通理解を図っている。                   |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                       | ○ |  | 相談等あればその都度対応しているが、こちらからの情報提供等も検討していく。          |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                      | ○ |  | 契約時に保護者と読み合わせをして共通認識を図っている。                    |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                              | ○ |  | 面談時や送迎時に相談や情報提供等を行っている。                        |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                          | ○ |  | 来年度に向けて実施を検討していく。                              |
|              | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している    | ○ |  | 第三者機関も設置し、苦情があった際には迅速に対応できる体制を整えている。           |

|        |    |                                                                            |   |   |                                                                     |
|--------|----|----------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------------------------------------------------------------|
|        | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                           | ○ |   | 玄関に活動時の写真を掲示して情報発信をしている。                                            |
|        | ③⑤ | 個人情報には十分注意している                                                             | ○ |   | 職員全員個人情報に関する誓約書を交わし、業務にあたっている。                                      |
|        | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                        | ○ |   | 視覚支援等ツールを用いたり、スケジュールを提示して支援を行っている。                                  |
|        | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                         |   | ○ | イベントや日々の活動で地域の方との交流が増えてきている段階である。                                   |
| 非常時の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                            | ○ |   | 契約時に保護者と読み合わせをして共通認識を図っている。                                         |
|        | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                         | ○ |   | マニュアルに沿って避難訓練を毎月開催している。                                             |
|        | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                         | ○ |   | 年1回以上虐待防止の研修を受講している。                                                |
|        | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ |   | 現在身体拘束を行っている児童はいないが、実施する場合は職員全員で話し合い、相談員、保護者に十分に説明をした上でサービス計画に記載する。 |
|        | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | ○ |   | 保護者の方と面談をしてサービス計画の見直しをしている。                                         |
|        | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                  | ○ |   | ヒヤリハットを共有し、事故に繋がらないよう施設内の環境を適宜見直している。                               |